様式４

学校番号

93

令和　７　年度　学校評価書【学校運営協議会用】（　計画段階　）

福岡県立　　筑　豊　　高等学校

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	「予測困難な時代をたくましく生き抜く産業人材を育成する学校」 地域の産学官連携による実践的教育活動を通して、社会人基礎力を身につけ、卒業後に即戦力として地域社会へ貢献できる商業と家庭分野の専門家を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に 関する方針）	・起業家教育の視点に立ち「マネジメント」「クリエイティブ」「ホスピタリティ」の領域に必要となる資質・能力を育成し、地域や社会で必要とされる人材の育成 ・就職後は即戦力、即社会人として活躍できる人材の育成 ・進学後は専門的な学びを更に深め、自らの進路選択の幅を拡大できる人材の育成
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に 関する方針）	・経営者による講演会等、３年計画の交流活動【起業家育成プログラム】 ・地元商店街や提携店舗での販売活動、商業施設でのファッションショー等、地域産業界と連携した体験的活動 ・直方市との協働による子育てサロンの開設等、地域行政と連携した社会的活動 ・幼小高連携での保育実習や被服実習等、異校種間と連携した体験的活動 ・社会人招聘事業を活用した体験的活動
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに 関する方針）	・責任感をもった正直な生徒（誠実） ・人の気持ちを理解し、自他を大切にする生徒（親愛） ・何事にも挑戦しようとする意思と創造性をもった生徒（創造）

様式４

学校運営計画（４月）

学校運営方針			評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
本校は創立117年目を迎え、卒業生総数28，282名を誇る筑豊地区唯一の専門高校である。入学時から「社会に出るための力を身に付けること」を目標として、教室での学習と共に様々な体験活動を多く取り入れた「実学」重視の学習により、卒業後は地域社会を支え、地域社会に貢献できる（地域創生）人財となるべく教育活動を推進している。 生活デザイン科においては、令和7年度入試において8年ぶりに志願倍率が1．０倍を超える快挙となった。資格取得においても常に全国的なレベルを保ち、さらには、年間20回を越える特色ある教育活動の取り組みや広報活動の成果が見られた。しかし、商業に関する学科では、令和6年度、令和7年度入試において2年連続、出願者数は定員120名に対して約半数の志願者数にとどまる衝撃的な数となった。喫緊の課題として、教育課程の見直しや募集方法の改定も含め筑豊地区における商業教育へのニーズについて分析を行ない改善が求められていると強く感じている。 このような現状の中においても、いかに本校の特色や魅力を「選ばれる県立高校」として発信し、積み上げていくのか、学校再編等も話題になる中、生き残りをかけて取り組んでいくことは、本校を選んで入学してきた生徒が卒業する時に「筑豊高校に来てよかった」と笑顔と涙で卒業していく姿、そして、全員第一希望進路の実現を全職員のミッションとして、学校満足度の高い教育活動を粛々と展開していく他ないと考える。10年後、20年後も「筑豊高校ここにあり」と地域社会から必要とされ、信頼される学校であるためにも全職員で力を合わせ、本年度の「学校経営方針」の具現化と本校の更なる魅力化、特色化を推進していく。	1．安心・安全な学校づくり「危機管理体制の構築」	・集会やホームルーム及び研修等を通じて、登下校、出退勤時や教育活動全般におけるリスクをマネジメントできる生徒と職員の危機管理体制を構築する。職員においては特に人権感覚の涵養、働き方改革の推進、及び不祥事防止の啓発を促す研修体制を充実させる。また、教育活動全般を通して、生徒相互の理解と尊重を促し、生徒一人ひとりが安心・安全で居場所のある学校を作るため、多様性を認め合い、自他の人権を守ろうとする実践力・人権感覚を育成する。そして特別な支援を要する生徒や不登校等の生徒への手厚い指導をSC・SSWと連携し、誰一人取り残さない個別最適な生徒指導を推進することによって、転退学のない信頼される学校づくりに努める。	
	2．ワークライフバランスのとれた働き方の実現「職員の健康＆風通しのよい職場」	・教職員一人ひとりが生徒と向き合える時間を確保し、やりがいと充実感をもって教育活動に取り組めるよう、行事や業務の精選、業務量の平準化、外部専門家の活用、組織での対応等を推進し、週休日には心と身体を休める時間を確保する。また、管理職や各部課長のリーダーシップのもと、「チーム筑豊」として風通しのよい職場環境づくりに努める。	
	3．やりがいのある学年経営、クラス経営の確立「組織としてのリスペクトある支援体制」	学年主任のリーダーシップのもと、担任・副担任がやりがいをもってクラス経営に臨むことができる組織的な支援体制を確立させる。協力し合う教員の姿と、その取組が生徒の成長、育成にリンクしていく協働的な教育活動を展開していく。「生徒の笑顔は学校の宝、学校の宝は生徒の笑顔」を大切にできる愛ある教育を施す教師集団を目指す。	
	4．基礎学力の定着「主体的に学ぶ意欲の育成を目指した観点別評価の有効活用」	・観点別評価を有効に活用し、生徒の学びに向かう主体性を育成するとともに低学力、及び特別な支援を要する生徒の進路保障につなげる。主体性を基軸として基礎的・基本的な学力の定着を図り、ICTの活用や習熟度、TT、AL型授業などを手段とした授業改善に取り組む。また、教科内連携による指導法の共有や専門研修及び公開授業等を活用した教職員のスキルアップを図り、個別最適な学びと協働的な学びを推進する。	
	5．鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばす教育活動の実践「筑豊プライドの醸成」	・各科の特色ある取組や学校行事、生徒会活動、部活動及びボランティア活動等を通して、自己有用感や自尊感情、コミュニケーション能力及びチャレンジ精神を育成し、鍛えてほめることにより生じる自己肯定感や達成感を高め、筑豊高校生としての帰属意識を涵養する。	
	6．キャリア教育、職業教育の充実「オープンキャンパスやインターンシップへの積極的参加」	・自己の進路を切り拓くキャリア教育と職業教育を充実させ、成年年齢引き下げの自覚のもと社会生活に主体的に参加する態度と能力を育成するとともに、第1希望進路の実現を目指す。また、3年間の計画的、継続的なキャリア教育と職業教育を展開し、オープンキャンパスやインターンシップ及び応募前職場見学等に積極的に参加する生徒を育成する。	
	7．実践的、体験的な教育活動の推進「地域貢献活動への積極的参加」	コミュニティ・スクール導入校、のおがたSDGs推進パートナー、福岡県ワンヘルス教育実践協力校として、専門教育や産業教育を活用した「実学の筑豊」をアピールすべく地域創生等をテーマとし、本校の専門性を活かした地域社会への貢献活動を行う。また、「ALL CHIKUHOU ～WELL-BEING～ 生徒も教員も家庭も地域も筑豊高校にかかわるすべての人を幸せに」をスローガンとし、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるように、よりよい地域社会の構築に本校での学びを積極的に活かす試みを継続し、地域に根ざした専門高校として本校の存在価値を実証していく。	
	8．積極的な情報発信「広報活動の充実」	・募集定員の確保を目標として、1年間を通して計画的、効果的な中学校訪問やオープンスクールを実施する。また、学校ホームページやSNSを活用した広報活動を充実させ、専門高校としての魅力や特色を様々な場面で発信していく。	

様式４

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
魅力的な学校を目指す	コミュニティスクールを生かし、広報活動を強化する。また、校内での広報活動を充実させる。	コミュニティ・スクールを生かし、地域学校協働活動や校内の行事についても見直しを行う	体験入学時のアンケートで本校で学びたい生徒の割合90％以上	
		体験入学の参加者を350名以上を目指し、入学者増を目指す		
		日ごろの生徒の様子を公開できる機会を増やす		
基礎学力の充実化と部内運営上での連携強化を図る	基礎学力の定着及び主体的に学ぶ意欲の育成に向けた観点別評価の研究	各学期の成績を統計的に分析し、次年度の評価について研究する	作成、説明、提出の実施率が100％。	
		各教科に各科目の年間指導計画と学期毎の評価シートを作成、提出してもらう		
		全学年、全科目において授業担当者から成績評価について授業で説明を行う		
	統合型校務支援システムの利活用と欠席数、遅刻数、転退学数の抑制	担任による出欠入力と教科担当による欠課の入力の徹底化を図る	全校生徒の出席率が96％以上	
		欠席、遅刻、欠課について、各学年や関係部署と連携して指導を行う		
		校務支援システムに入力された出欠と欠課の結果を利活用し、欠席・遅刻、欠課時数の情報の共有化を図る		
効果ある研修により教職員の力量を高めるとともにタイムマネジメントを通じて業務の効率化をはかる	効果的なICT機器の活用と必要に応じた研修の実施	業務や授業の有効的活用のため、Classroomの活用を推進する	ICTを授業で使うことができる教員の比率が90％以上	
		ICT機器の有効な活用を模索し、生徒の充実した学校生活を推進する		
		時代に即した校内研修を企画・実施していく		
	外部機関との連携の強化と校内での業務の効率化の推進	PTA活動について学校組織の参画を増やす	ホームページの閲覧数を昨年以上にする。	
		他分掌と連携しながら、業務の効率化・スリム化を行う		
		ホームページの発信を強化し、取り組みを発信する		
生徒が力を発揮できる学校づくり	情報共有及び各部等の連携	模範となる意識の醸成を通じて、問題行動の未然防止に努め、関係部署との連携を深める	問題行動の再発0件	
		校則違反者等への指導において、再発防止を最優先に、きめ細やかで適切な対応を行う		
		すべての生徒に対して平等で公正な指導が行えるよう、環境整備に力を入れる		
	学校行事や生徒会活動の活性化	生徒一人ひとりが挑戦し、帰属意識を高めることができる環境を整え、積極的に参加できる機会を提供する	学校生活アンケートにおいて「本校を選んで良かった」①②回答率90％超	
		生徒会が主体的に学校行事を推進し、リーダーシップを発揮できる場を創出する		
		学校を牽引する存在として、生徒に対してリーダーとしての自覚を促す指導を行い、成長をサポートする		
自己管理「自分の健康は自分で守る生徒の育成」	心と体の健康充実	健康診断を通した保健指導を行う	生徒の健康診断受診率を100％を目指す	
		保健室で得た情報を関係職員と共有する		
		SCやSSWと共に、生徒の現状を把握し、教員間の連携を図る		
		保健委員会活動の活性化を図る		
	校内美化の充実	1・2学期にキャンパスクリーンアップを実施する	全クラス30点満点中25点以上を目指す	
		各学校行事前に大掃除を実施する		
安全な居場所としての学校の確立	安全な居場所としての学校の確立	生徒が安心して学校生活を送ることできる環境を整備する	・いじめアンケート、学校生活アンケート、家庭チェックリストを活用 ・生徒情報交換会を活用	
		保護者との連携を図り、生徒自身がよりよい学校生活が送れる		
		生徒の学校生活の状況を把握し、教員間の連携を図る		
	高校生活の充実	学事・企画広報と連携し、誰ひとり取り残さない取り組みを行う	・各学年、関係部署と連携 ・事務室奨学金担当者との連携	
		学校行事ホームルーム活動を通じ生徒と担任および教員の信用を図る		
		経済的支援を要する家庭を把握、奨学金の周知、案内など情報提供		
キャリア教育の推進（社会的自立に向け基盤となる能力・態度の育成）	就職指導の充実（職業観・勤労観の育成）	マナー教育の徹底（性格を磨き、人間的魅力を高める）	・第一志望企業内定率 ・離職率	
		進路学習の充実（講話、ガイダンス、職業体験、面接指導等）		
		企業との連携（卒業生の近況、求人動向、信頼関係構築等）		
	進学指導の充実（将来を見据えた進学指導）	進路学習の充実（講話、ガイダンス、オープンキャンパス等）	・第一志望校合格率 ・上級学校早期退学率	
		大学受験希望者支援（入試研究、面談、学習支援、講座開設等）		
		奨学金制度の周知、手続き支援		

様式４

地域社会へ貢献できる商業分野の専門家の育成	社会人基礎力の習得	専門商業基礎力の定着	授業アンケートの「理解度または興味関心を深めた」等の項目での普通以上の解答が80％以上	
		主体的に学ぶ意欲の育成を目指した観点別評価		
		授業・検定受験希望者のサポート等、個々に応じた指導		
	実践的教育活動の充実	地域貢献活動への積極的参加等、実践的、体験的な教育活動の推進	各教育活動後のアンケートで「積極的に取り組んだ」「地域や社会への関心が高まった」等の普通以上の解答が80％以上	
		生徒の自発・自立を促す教育活動を実践し、生徒の可能性を伸ばす		
		時間・礼節・マナーを喚起し「筑豊プライド」の醸成を行う		
地域社会へ貢献できる家庭分野の専門家の育成	社会人基礎力の習得	科目の指導目標・内容・評価基準を明確にし、指導の充実を図る	・授業アンケートでの該当項目80％以上 ・各学年検定合格率75％以上	
		各種検定では、上級合格に向けて主体的に取り組む態度と能力を養う		
		専門科目の学びを実践的な活動と連動させ知識技術を深化させる		
	実践的教育活動の充実	指導内容に適した、社会人講師と効果的な時期の設定	・年間10回以上の社会人招聘授業の実施 ・年間10回以上の実践的活動も実施 ・活動毎の満足度・達成感80％以上	
		行政や商業施設と学びを生かした連携活動にの実施		
		活動において自己有用感を育み、リーダー育成を図る		
円滑な学年経営と筑豊高校を選んでよかったと思う生徒の育成	分掌との連携	学事部と協力し、基礎学力の定着を目指す	筑豊高校で自身が成長できていると感じている生徒98％以上	
		生徒育成部と連携し、挨拶や服装指導を継続して行う		
		キャリア教育部と連携し、学年に応じた指導を行う		
	保護者や地域との連携	保護者と緊密に連携を行い、スピード感のある対応を行う	生徒の1・2学期の出席率98．5％以上	
		地域の方から情報をいただけるような関係を構築する		
		諸問題については各分掌・学年と協力し、解決する		